

令和2年12月21日

鳥取市長 深澤 義彦 様

鳥取市議会議長 山田 延孝

議会報告会・意見交換会からの意見等について（通知）

本市議会が10月21日鳥取大学にて開催した、議会報告会・意見交換会において、大学生から鳥取市政に生かすべき意見が多く出されました。

つきましては、下記意見を参考に各事業に取り組まれるようお願いいたします。

記

1 ごみ処理コストの削減について

本市のごみ処理には莫大なコストがかかっていることを市民一人ひとりが認識し、そのコストを削減する行動につなげるため、フードロス対策としてドギーバッグの推奨や食品残渣の堆肥化に取り組むなど、具体的な意見が出された。市民意識の向上に直結する施策の実施が必要であるとする。

2 ごみ分別意識の向上を啓発する取組について

とっとり市報が届いていない市民に、ごみの分別方法などの情報が行き届いていない状況があり、特に大学生は県外からの移住者も多く、鳥取市のごみの分別方法を理解できていない可能性があるとの意見が出された。大学生のごみ分別の意識を向上させるため、各種媒体で周知を図るだけでなく、新1年生に向けたオリエンテーション時などを活用した啓発活動などに取り組むべきとする。

### 3 鳥取砂丘を拠点とした観光資源の活用について

砂丘や砂像を生かした新たな体験型観光の開発とレンタサイクルなど砂丘と駅や空港をつなぐ乗り捨て型交通手段の創設等の意見が出された。滞在型観光の推進にあたり新たな視点を取り入れた移動方法の検討や、若者や観光客を対象とした観光案内などの環境整備に取り組むべきと考える。

### 4 地域資源を生かす情報発信について

鳥取市民には当たり前のものでも来訪者には魅力的なカフェや地場産品が多くあり、SNSを活用した情報発信に積極的に取り組むよう意見が出された。地場産品のブランド化を図り、その魅力を十分に伝えられる情報発信の在り方を検討すべきと考える。

### 5 鳥取駅周辺の安心・安全の取組について

鳥取駅周辺には、街灯が少なく防犯上不安と思われる路地が存在していることから、防犯灯の設置や安心して過ごせる場所の確保など具体的な意見が出された。今後、鳥取駅周辺の開発に関し、防犯の観点をもって事業に取り組むべきと考える。

### 6 鳥取駅周辺の賑わいの創出について

バードハットや風紋広場の利用に際し、申込み手続きが煩雑で利用しづらいとの意見が出された。これらの駅周辺公共施設の利活用向上の観点から、申込み手続の簡素化を図るべきと考える。